

授業科目

解剖学実習

担当教員名 澤田 純明、佐伯 史子	対象学年	1	対象学科	視機
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	30

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	○	○	◎

授業の概要

本実習は前期の解剖学講義と強く関連しており、これらの実習・講義で授業した内容を会得することで、人体の基本構造を総合的に理解できるように設計されている。

1. 交連骨格模型および分離骨模型を用いて、人体の骨格系を理解する。
2. 視覚器および頭部の模型を用いて、視覚器の立体的な理解を深める。
3. 光学顕微鏡を用いて人体器官の組織切片を観察・スケッチし、人体を構成する諸器官のミクロ構造を理解する。

授業の目的

人体標本・模型標本・組織切片を用いた実習を通して、人体構造を十全に理解することを目的とする。

学習目標

1. 全身、特に頭部の個々の骨の形態と構造を理解し、部位と名称を説明できる。
2. 視覚器の構成を理解する。
3. 上皮組織・神経組織・網膜の微細構造を理解し、その組織学的特徴を説明できる。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	オリエンテーション、骨学実習（交連骨格と全身の分離骨を用いた実習）	実習	澤田 純明 他
2	骨学実習（頭骨模型を用いた実習）	実習、レポート作成	澤田 純明 他
3	骨学実習（頭骨模型および頭部の分離骨模型を用いた実習）	実習、レポート作成	澤田 純明 他
4	骨学実習（全身の分離骨を用いた実習1）	実習、レポート作成	澤田 純明 他
5	骨学実習（全身の分離骨を用いた実習2）	実習、レポート作成	澤田 純明 他
6	視覚器模型実習（眼球1）	実習、レポート作成	澤田 純明 他
7	視覚器模型実習（眼球2）	実習、レポート作成	澤田 純明 他
8	視覚器模型実習（外眼筋）	実習、レポート作成	澤田 純明 他
9	視覚器模型実習（網膜）	実習、レポート作成	澤田 純明 他
10	組織学実習（顕微鏡の使用法、上皮組織1）	実習、レポート作成	澤田 純明 他
11	組織学実習（上皮組織2）	実習、レポート作成	澤田 純明 他
12	組織学実習（骨組織）	実習、レポート作成	澤田 純明 他
13	組織学実習（神経組織）	実習、レポート作成	澤田 純明 他
14	組織学実習（視覚器1）	実習、レポート作成	澤田 純明 他
15	組織学実習（視覚器2）	実習、レポート作成	澤田 純明 他

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	入門人体解剖学 改訂第5版	藤田恒夫	南江堂	2012年	5,000円＋税	前期の解剖学講義と同じ教科書を使用する。
参考書						
その他の資料	授業プリントを配布					

評価方法

実習のレポート（30点満点）および期末試験（70点満点）の合計（100点満点）により成績を評価する。

履修上の留意点

実習室では白衣の着用を義務づける。スケッチブックと色鉛筆を準備すること（初回のオリエンテーションで説明する）。実習時間内にレポート作成を課すため、毎回の出席と積極的な実習参加を必要とする。

オフィスアワー・連絡先

オフィスアワー

月曜12:00~14:00、火・水・木曜12:10~13:10

連絡先

澤田純明 研究室 GA401 メール junmei-sawada@nuhw.ac.jp